



企業活動を支援します！  
～お気軽にご利用ください！～

所長 永吉 弘己

県内企業の皆様には、かねてから工業技術センターの業務運営に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の世界経済はめまぐるしく変動し、我が国の製造業は長引くデフレやアジア諸外国の製造業の躍進による競争の激化など、非常に厳しい状況が続いており、国では中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（ものづくり補助金）をはじめとする支援施策等により、製造業を戦略的・重点的に支援しているところです。一方、県では平成23年度末に、本県製造業の特性や現状を十分に生かし、本県の経済基盤を安定したものとしていくため、産学官の関係団体が一体となって取り組む「かごしま製造業振興方針」を策定し、また、本年度から本県の中核的産業である食品関連産業のマーケットイン戦略の推進や食品加工の高品質化・技術革新、経営力の向上等を総合的に支援する「食品関連産業振興プロジェクト」を新たに展開し、食品関連産業の更なる振興を図ることとしています。

さて、当センターでは製造業振興方針を踏まえ、平成24年度から5年間の業務の取組みの基本的考えと方向性及び業務目標を明確にした「中期業務計画」を作成し、この計画に沿って業務を実施してきているところです。この計画のなかで、技術支援と研究開発を業務の柱と位置付けています。技術支援は技術相談や依頼試験・設備使用、人材育成、情報提供など多岐に渡っており、県内企業の技術的課題の解決や技術者育成などに不可欠な業務となっています。今後とも、積極的な企業訪問や現  
地での技術支援などに  
努め、依頼  
試験・分析  
や技術相談



など迅速かつ丁寧な対応により、企業の満足度を更に高め、当センターの利用拡大を図ります。

一方、研究開発は方向性を地域資源付加価値創造と、ものづくり基盤技術高度化に定め、企業ニーズに即応した研究や県内企業との共同研究等を通して、新技術・新商品開発における技術力や市場競争力の向上を支援しているところです。研究開発はその成果が企業で実用化されることが最も重要です。今後とも産学官連携や各種の広報媒体を活用し、研究成果等の情報提供や成果普及を図ります。

さて当センターでは本年度から、奄美分庁舎の旧大島細部を企画支援部の奄美市駐在として組織再編し、業務を行うこととなり、従来の6部1室体制から5部1室体制になりました。

最後になりますが、当センターをより一層、活用していただけるよう職員の資質の向上や利便性の向上に努め、地域に根ざした試験研究機関として県内産業を振興していきますので、皆様の更なる御利用をお願い申し上げます。

